

学級活動指導案

令和4年7月1日（金） 第5校時

6年1組 指導者 山内 穂奈美

1 議題名

学級活動（1）ア 学級や学校における諸問題の解決
『最高学年として、手本となる「しんけん授業」にしよう』

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、4月の学級会で最高学年として「全校の手本となりたい」と願いをもち、「率先励行」という学級目標を掲げた。しかし、学習面でも生活面でも率先して一人で活動できる児童は少ない。学級会の話し合いでも、4月当初は話し合いに参加できる児童が、学級の1/4程度であった。そのため、4月・5月は、教師主体で議題を提案し、司会グループを運営委員会に固定して行った。話し合う内容も学級目標達成のための「成果」や「課題」など、児童が考えやすい内容に絞った。6月に入り、児童が話し合いの形を覚え、拳手が増えたため、児童が問題と感じている内容から議題を決める形にした。学級でアンケートを取り、結果から運営委員がクラスの課題を見つけ提案を行ったり提案者を決定したりした。司会グループも関係する委員会に任せ、4月当初より自分達だけで話し合い活動を進められるようになってきた。

（2）議題設定の理由

議題設定のために、アンケートをとった。アンケートの結果では、伝統である「先どりあいさつ」「しんけん授業」「もくもく掃除」に関する内容が、課題として多く挙がっていた。特に、「しんけん授業」を課題として考える児童は、49%を占めた。「しんけん授業」について話し合いたい理由として、「全員拳手ができていない」「反応が少ない」「声が小さい」などが挙げられた。議題を吟味している期間には、学習図書委員会の「全員拳手キャンペーン」の振り返りがあった。全て◎だった学年があったのに比べて、6年生は○もあり、他の学年に比べてよくない結果であった。話し合いの中では、「◎が増えてきた」という意見もあったが、多くの児童が今の状態を「手本と言えるしんけん授業ではない」と捉えていた。

上記のことから、クラスの大半が課題として捉えている「しんけん授業」について今回は話し合うことを決定し、議題を『最高学年として、手本となる「しんけん授業」にしよう』に設定した。

3 研究主題との関連

研究内容2① 話し合い活動を充実させるための指導の工夫・・・交流の工夫

2週間前から議題提案することで学級全体が議題を共通理解し、一人一人が課題と解決策を考える時間を十分に確保して、授業に主体的に参加できるようにする。個人（事前）→全体交流→グループ交流→全体交流の流れとすることで、全体交流の場で自信をもって発表することができる。さらに、全児童が話し合いに参加できるよう、小グループの場を設定し、どの児童も自分の意見を話す場を設けた。自分の考えを述べ、仲間の意見に耳を傾けることができる環境を作ることで、話し合い活動を充実させたい。

研究内容2② 話し合いを活発化させるための事前指導の工夫・・・問題意識を高める工夫

学級の問題点をアンケートで集めることで、学級の問題点を自分事として考えることができるようにする。また、議題提案理由を話す際に、提案者がグラフを示し、視覚的に結果を提示することで、児童一人一人に問題意識をもたせたい。

4 本時のねらい 課題点から、自分たちができる具体的な解決策を考えることができる。

5 本時の展開 ○司会者

話し合い活動	教師の指導・援助	評価基準と評価方法
<p>1 始めの言葉 2 司会グループの自己紹介 3 議題の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>最高学年として、手本となる「しんけん授業」にしよう。</p> </div> <p>4 提案理由の確認 5 司会が話し合いの出口の確認 ①1番考えたい課題を決める。②解決策を考える。 6 話し合い ①課題を出し合い、1つに絞る。 (全体交流) ・反応がいつも同じで、ハンドサインも時々挙げていない人がいます。全員で参加することがしんけん授業なので、もっと反応ができるようになると思います。 ・自信がなくて参加できないことです。意見をもっている人が話しをしてくれると、もっと話し合いが高まると思うので、改善していきたいです。 ・〇〇さんの意見に賛成で、自分の意見をもっている人も参加できていない人が多いことが課題だと思います。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>〇みなさんの意見を聞くと、全員が参加できないことを課題としています。どうしたら全員が授業に参加できるかを考えましょう。</p> <p>②解決策をグループで考える。 (グループ交流) <u>全員が参加できない。</u> ・まずは、言えるところまで意見を言うことが大切だと思います。違っていた時は、周りの人が〇〇まであっていまして、話し手も安心するし、聞き手も比べて話せて考えが深まり、しんけん授業に繋がると思うからです。 ・分からない時は、分からないことを話すといいと思います。そうすることで、どこで止まっているかが分かり、周りから意見が出て、全員が高まると思うからです。 ・私は、自信がなく挙手が少ないので、反応を多くするいいと思いました。反応が多いと、実際私は安心するし、次もがんばろうと思えるからです。 ・間違ったときに、声を掛けるといいと思います。間違えたとき、みんなにどう思われているか少し心配なので、アドバイスや声掛けがもらえると安心します。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>〇ハンドサインも声掛けも、どちらも反応なので、反応を多くするにまとめていいですか。 (全体交流) ・〇〇班の意見に賛成です。しんけん授業は、自分の考えをもって話し合いに参加することなので、自分の分かるところまで話すようにすればいいと思いました。 ・〇〇班の意見に賛成です。聞き手が「分かりました」だけではなく、「〇〇のところが分かりました」など言うと、聞き手も比べて聞くことができ、「しんけん授業」が高まるといいと思いました。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>〇出てきた意見をまとめると、解決策は〇〇でいいですか。 7 決まったことの確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今日の話し合いでは、課題は〇〇が挙がりました。解決策として、〇〇が挙がりました。7月は〇〇をして、手本となる「しんけん授業」にしていきたいと思います。取組方法は、来週の昼休みに学習図書委員会が話し合い、次のロング昼休みに提案します。</p> </div> <p>8 話し合いの振り返り 9 先生の話 10 終わりの言葉</p>	<p>教師の指導・援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターを使って学級の実態を視覚的に捉えさせることにより、提案理由をより説得力のあるものにする。 ・めあてを確認させる。 <p>(全体交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の話し合いの場で、考えさせたい意見をもつ児童には、教師が意図的に指名をする。 ・異なる意見が出てきたときは、折り合いを付けながら解決方法を見出している。 <p>(グループ交流)</p> <p>司会・書記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会・書記が行う内容については、掲示を用意し、最初に確認する。 ・司会者が合図をした時は、助言を行う。 ・意見がまとまらない場合は、意見をグループ分けし、共通点を見つけるよう助言する。 ・話し合いの論点がずれた場合は、修正するよう助言する。 <p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決策だけを話している児童には、自分の考えの根拠を周りの子に話すように促す。 ・相手の意見に対して相手の良さを認めながら自分の意見を述べている児童を価値付ける。 ・賛成・反対などの自分の立場を明確にして、自分の意見を伝えるように助言する。 ・話し合いがどこまで進んでいるか分かりやすくしたりするためには、キーワードの書き方や内容の関係付けなど板書の仕方を助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを話せるように、定型文を用意しておく。 ・振り返りの3つの観点に沿って、振り返っていることを見届ける。 ・話し合いに意欲的であったり、建設的な発言をしたりした児童を価値付け、今後の課題について方向付ける。 	<p>評価基準と評価方法</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの弱さの実態から、改善点を考えている。 〈発表ノート・発言〉 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの児童全員が話せるように、話し合いを進めることができている。 〈観察・話し合い〉 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を持ち、立場を明確に(賛成・反対)することができている。 〈発言〉 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対しての解決策を決めることができた。 〈話し合い後の確認〉 </div>